

事業所名：デイサービス TRY studio

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 8年 3月 30日 (月) 13時30分～14時00分	
参加者	議題
利用者 0名	1. 2025年12月時点の利用実績報告
利用者家族 0名	2. 人員体制
地域住民の代表者 2名	3. 感染予防、災害対策について
市職員 1名	4. 事故・苦情などの報告
地域包括支援センター職員 1名	5. BCP策定状況の報告
事業所 1名	6. 高齢者虐待対策に関する報告
会議録	
<p>1. 2026年3月時点の利用実績報告（添付資料参照） 午前はほぼ満員。午後もほぼ満員の状態で、空きが出てもすぐ埋まる状態。 男女比はほぼ半々というのが事業所の特徴となってきた。 年齢区分も幅広い年齢層からご利用いただいている（63歳～96歳） 認定区分としては事業対象者や要支援者が多い</p> <p>2. 人員体制および活動報告 <人員体制（登録数）> 前回報告時と変わりなし。 <活動報告> 日々の活動の流れについて写真を用いて説明を行った。</p> <p>3. 感染予防、災害対策について <感染予防対策> 利用者来所時における検温および手指消毒の実施、サービス利用中におけるマスクの着用、随時の換気による、新型コロナウイルスをはじめとした感染予防対策を実施。午前と午後の間に床消毒と換気を実施。 <災害対策> 防災訓練の様子を写真を用いて説明した。発見から避難までの時間は約2分30秒であった。終了後の職員アンケートにて良い点だけでなく、悪い点・改善点などが出たため、次回開催に向けて改善していく予定。 また次回開催については事前連絡や事前役割等のアナウンスなしで実施していただくとよいか。</p> <p>4. 事故・苦情などの報告 当て逃げに対する対応について、検討することがあった。 転倒などの事例があり、現象とそれに対する対策について報告した。</p>	

5. 認知症者への対応

事業所開所して3年半が経過した。利用者の心身に少しずつ変化が生じており、その最たる例として認知症および認知機能の低下が挙げられた。事例を供覧し、今後の当事業所の課題について共有した。

6. 高齢者虐待対策に関する報告

現時点において当事業所で関連する報告はないが、今後も発生しないように研修等を通して、周知徹底を図っていく。

<質疑>

疑) 男性が多いのは何か特別なことをしているのか?

回) レクリエーションがないこと、ジムのような雰囲気でもシンを中心に行ったり、個別リハビリに力を入れていることが要因ではないかと考えている。

疑) 労働衛生管理者はおかなくていいのか?

回) 人員基準上の決まりはない。施設サービスでは必須。通所サービスでは必要ないが、法人に打診する

次回開催予定：令和8年6月頃。